

スダジイタマバエは、スダジイのドングリになる部分（雌花序）に虫瘤（こぶ）を形成し、種子生産を妨げます。伊豆諸島南部では、この昆虫が多発生している影響で、過去20年近くスダジイの凶作が続いています。2020年度のどんぐり豊凶モニタリング調査で、沖縄島から約40年ぶりに本種が確認されました。奄美大島や徳之島では未発見で、本調査を通じて中琉球におけるこの昆虫の分布や生息密度の解明が期待されます。

佐賀大学農学部 徳田誠

このモニタリングにおいては、どんぐりに限った豊凶調査ではあるものの、調査を通し、スダジイの森林生態系に占める重要な立ち位置を感じたり、その他樹種との結実差による野生への影響を感じたりと、年ごとに化する実りと生き物の関わりを紐解いていくような体験がこの調査にはあります。南西諸島においては、島ごとで樹種に偏りがあるため、島ごとの固有性に富んだ生態系を育む実りを産む植生ごとに豊凶を調査するのも面白そうだと考えるようになりました。

NPO法人徳之島虹の会 美延優志

中琉球の島々におけるどんぐり豊凶の現状が調べられたことに加え、どんぐりと動物の関係性が見えてきたことは、大きな成果だったと感じています。今後は、奄美大島でも子どもたちが調査体験できる取組を進めていきたいと考えています。島の自然を肌で感じ、双眼鏡を覗いてどんぐりを探し、その結果を調査シートに記入する、という作業が、子どもにとっては新鮮なことです。この調査を経験して、生物学を志す子どもが誕生することを願って！

奄美市立奄美博物館 平城達哉

私はこれまでドングリの実が木に生っている状態を意識して見たことがなかったので、双眼鏡でドングリを探す作業に少し戸惑いましたが、数取器を持って数える調査方法は慣れてくると楽しく感じました。調査中は虫こぶと見間違わないように集中しました。ドングリの豊凶が奄美大島と徳之島、そして沖縄島北部と同調がみられること、動物の個体数の増減と関係していること等を知り、とても興味がわきました。

調査を続けることで更に新しい発見があると思います。

沖縄県立辺土名高校環境科 畑信吾

近年、沖縄にどんぐりの木があることを知っている人が増えてきました。しかし、そのどんぐりの木についてまだまだ知らないことが多いと思います。

学校等で、このパンフレットを利用しどんぐりの特徴を覚えましょう。どんぐりの木を通して、面白い生き物がたくさん発見できるはずです。そして、どんぐりの魅力に気がついてもらえると嬉しいです。この事を通して私達も生き物たちに生かされていることに気がつくと思います。

さあ、パンフレットを手に持って植物観察に出かけましょう！

沖縄キリスト教短期大学 照屋建太

奄美の多くの生き物たちにとって生きていくための糧となっているドングリ。その豊凶の変化を調べることは、生態系への影響を知り総合的な保全につながっていくことになると思います。調査を通じてたくさんの人々に興味を持っていただけることを期待しています。

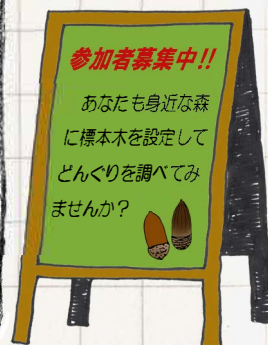
NPO法人奄美野鳥の会 永井弓子



小学生を対象に、豊凶モニタリング調査の実際のやり方を指導する出前授業の様子。(徳之島虹の会)



沖縄島北部名護岳展望台での調査の様子(辺土名高校)



《参考文献》

- 「琉球の樹木 奄美・沖縄～八重山の亜熱帯植物図鑑」大川智史・林将之 文一総合出版
- 「どんぐりハンドブック」いわさゆうこ著 八田洋章監修
- 「南西諸島の中琉球における双眼鏡を用いたスダジイ豊凶モニタリング」九州森林研究, 74, 69-72. 高嶋敦史・久高奈津子・阿部真・安部哲人・小高信彦 (2021)
- 「中琉球固有種オキナワトゲネズミの保全上の課題：世界自然遺産にふさわしい森林生態系管理に向けて」森林科学, 84, 11-15. 小高信彦・巨悠哉 (2018)
- 「野ネズミとドングリ」タンニンという毒とうまくつきあう方法」島田卓哉 東京大学出版会

【協力】

NPO法人奄美野鳥の会 奄美市立奄美博物館 名護博物館
環境省沖縄奄美自然環境事務所 沖縄県立辺土名高等学校
環境省奄美野生生物保護センター Yambaru Blue
環境省徳之島管理官事務所 NPO法人徳之島虹の会
環境省やんばる野生生物保護センター
沖縄キリスト教短期大学 東村立山と水の生活博物館

制作 森林総合研究所 琉球大学 Yambaru Green
イラスト・デザイン 久高奈津子 (Yambaru Green)

